

松川町における地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業)

地域公共交通総合連携計画策定調査の必要性

廃止路線代替バス、福祉バス、障害者や一人暮らしの高齢者を対象としたタクシー券補助事業がありますが、有機的に連携が取れる状態ではなく行政コストも嵩んでいる。そこで、住民の声やニーズを的確に把握し住民の生活交通の利便性を高めるため、新たな交通システムについて総体的に研究・調査を行ない、小中学校や役場等の公共施設、日赤病院等の医療機関を結ぶとともに商店街との連携を図り、誰でもどこからでも乗降できる地域公共交通総合連携計画の策定を目的とする。

松川町地域公共交通対策協議会

松川町、伊那バス(株)、丸茂自動車(有)、松川タクシー、大島地区代表、上片桐地区代表、生田地区代表、高齢者クラブ、松川町商工会、松川町社会福祉協議会、松川町女性団体連絡協議会、松川町福祉を考える会、長野県飯田警察署、長野県下伊那地方事務所、道路管理者、北陸信越運輸局長野支局他

総合連携計画策定調査実施計画の概要

1) 調査の内容等

① 公共交通現況調査

地形条件の整理、バス系統別利用データの分析、バス利用実態調査、その他の交通関連データの分析。

② 利用ニーズ調査

利用者・関係者ヒヤリング、地元意見交換会

③ 地域公共交通総合連携計画の策定

コミュニティバス運行計画図

